

おおた生涯学習推進プラン 令和6年度取組状況報告

※本プラン以外の区の個別計画で進行管理を行う事業・取組については、本プランにおける進行管理は行わず、各個別計画で進行管理を行います。

基本理念

学び つながり 地域力で 羽ばたくまち

趣味やサークル活動などの自発的な学びは、心の豊かさをもたらすだけでなく、新たな関心を育みます。

新たな関心が新たな学びにつながり、さらなる知的欲求の充足や生活の改善及び自己実現につながります。

学び合いを通じて相互に理解し認め合うことで、自己肯定感や幸福感、つながり意識などが生まれ、人と人との絆の強化や、コミュニティの形成につながります。

学びを通して生きがいを持った区民が増えること、また、学び合いを通じた地域のつながりが育まれることで、地域力が向上し、誰もが自分らしく心身共に健康に暮らし、新しい世界とつながることができるまちとなります。この目指すまちの姿を「羽ばたくまち」と表現しています。

また、区内では既に多くの主体が地域力を発揮し、特色ある資源を生かした豊かな学びの機会を提供しています。こうした地域力を生かした学びをさらに区民に身近なものとしていくことは、地域力をさらに向上させることにつながります。

基本目標

基本目標 1

個人の学びの充実

楽しむことで人生を豊かにすることのほか、教養を高めることや仕事や学業に役立てること、健康の維持、体力づくりを目的として生涯学習を行っている区民が多いことから、多様なニーズに応える学びの機会の充実に取り組みます。

学ぶことに関心のある区民が多い一方で、様々な理由により学びの場に参加できていない区民もいます。ICTの活用等により、ライフステージやライフスタイルに関わらず、学ぶ意欲のある区民誰もが学びやすい環境を整えます。

基本目標 2

学びを通じたつながり・ 活用の場の創出

生涯学習を行う目的として、人生を豊かにするためや教養を高めるためと回答した区民が多い一方で、区が生涯学習を推進することで、地域における人と人のつながりが増えることが期待されています。学んだことを発表する機会や学びを通じて交流する機会を創出することで、個人の学びを深めるとともに、学びを通じたつながりを育み、地域の課題解決や活性化につなげます。

基本目標 3

地域の学びを支える環境整備

区は、多様な主体が特色ある区の資源を活用しながら学習機会を提供しています。また、区内には文化センターや区民センター、図書館など地域に根差した施設が全域に配置されています。こうした資源を最大限生かし、区民の学びを支援するため、多様な主体と連携しながら学習・活動環境を整備します。また、学習や活動機会の提供だけでなく、情報を体系化し可視化することで、学びたいことと学びの機会がつながる情報の発信を行います。

施策		取組の方向性	重点的取組		
1	1-1 多様な分野での 学びの充実	① ライフステージごとの 学びの充実	1 地域力を生かし育む、 学びとつながりの循環の創出	2 ICTを活用した学びの 環境整備	3 地域の学びを支える施設や 事業の拡充
		② 心身の健康を育む 学びの充実			
		③ 安心して暮らすための 学びの充実			
	1-2 誰もが学び始める ことができる 仕組みづくり	① 誰もが参加しやすい 学びの充実			
		② 学びの環境の バリアフリー化			
		③ ICTを活用した 学びの充実			
2	2-1 つながりが生まれる 場づくり	① 交流の基盤づくり			
		② 活動内容や成果の 発表・交流促進			
	2-2 学びが生かせる仕組みづくり	① 学びを地域で生かし、 発展させる機会の提供			
3	3-1 学びの情報発信の充実	① 区民と学びをつなぐ 情報発信の充実			
	3-2 推進体制の構築	① 地域力を生かして 学びを支える仕組みづくり			
		② 学びに関する 相談対応機能の充実			
	3-3 施設の機能・ 利用機会の拡充	① 地域に根差した 学びの拠点づくり			
		② 生涯学習センター・ コーナー機能の拡充			

基本目標Ⅰ 個人の学びの充実

楽しむことで人生を豊かにすることのほか、教養を高めることや仕事や学業に役立てること、健康の維持、体力づくりを目的として生涯学習を行っている区民が多いことから、多様なニーズに応える学びの機会の充実に取り組みます。

学ぶことに関心のある区民が多い一方で、様々な理由により学びの場に参加できていない区民もいます。ICTの活用等により、ライフステージやライフスタイルに関わらず、学ぶ意欲のある区民誰もが学びやすい環境を整えます。

生涯学習の実行状況（過去１年間の生涯学習実行状況）

注目指標

目標

（前年比向上）

年度	割合
令和３年度	55.4%
令和４年度	23.3%
令和５年度	31.7%
令和６年度	40.5%

オンラインでの生涯学習経験

（オンラインで生涯学習を行ったことがある人の割合）

年度	割合
令和３年度	40.8%
令和４年度	51.6%
令和５年度	35.3%
令和６年度	32.2%

施策Ⅰ-Ⅰ 多様な分野での学びの充実

内容	価値観やライフスタイルが多様化する中、区民には幅広い分野において潜在的な学びのニーズがあります。このため、あらゆる世代の区民が、ライフステージや関心に応じて学習を選択できるよう、多様な学習提供主体と連携しながら学びの機会の充実に取り組みます。
取組の方向性	①ライフステージごとの学びの充実 ②心身の健康を育む学びの充実 ③安心して暮らすための学びの充実

関係する主な 事業取組状況 (人数：延べ参加者数)	ユネスコ活動	
	内容	「ユネスコ憲章」及び「ユネスコ活動に関する法律」第４条に基づき、ユネスコ活動の目標を達成するため、地域の特性に応じた講演会や写真展を大田ユネスコ協会と共催します。
	実績	講演会２回（７３人）、写真展３回を大田ユネスコ協会と共催しました。 [前年度]講演会２回（８０人）、写真展３回
	消費者講座（親子講座）	
	内容	小学生とその保護者を対象に、消費生活にかかる諸問題や環境資源・エネルギー、食育などについて、工作や料理などの体験と親子の触れ合いを通じて学ぶ機会を提供します。
	実績	親子で参加できる講座を１回（６人）開催しました。 [前年度]１回（１８人）
	生活展	
	内容	消費者問題を柱として、環境、防災、リサイクル等幅広い問題に関する展示、発表、講座等を行います。
	実績	１回（１日間）区内の消費者団体と共催し、１,４４８人の来場者がありました。 [前年度]１回（１日間、１,７７０人）
	特殊詐欺等防止のための啓発活動の推進	
	内容	特殊詐欺や消費者トラブル等の被害に遭わないように、防災危機管理課、高齢福祉課と連携し、具体的な手口やその防止策等について啓発活動を行います。
	実績	特殊詐欺や消費者被害撲滅に向けた講座を１回（２７７人）、特殊詐欺に関する DVD 上映を １２１ 回（１,４９８人）開催しました。 [前年度] 特殊詐欺や消費者被害撲滅に向けた講座を１回（２３０人）、特殊詐欺に関する DVD 上映を ９６ 回（１,４４７人）開催しました。
	深める・つながる講座	
	内容	地域社会に密着した課題など幅広いテーマについて学ぶ機会を提供します。区内の大学や専門学校との提携による専門性の高い講座や、区民参画の企画講座などにより区内の特色ある資源を活用しながら、区民の多様な学習意欲に応えます。また、他の学習者との学び合いにより、学びを深めながら地域への愛着を育みます。
	実績	生涯学習入門、現代的課題、地域づくりなどをテーマに、公募企画員による企画講座や区内大学等との提携講座など ７８ 回（８６１人）開催しました。 [前年度] ６７ 回（９６７人）

関係する主な 事業取組状況 (人数：延べ参加者数)	学びのきっかけ講座	
	内容	これまで「生涯学習」、「学び」に親しみがなかった区民の参加を促し、学びの裾野を広げることを目的として、気軽に参加できる講座を拡充しました。
	実績	日々の暮らしに役立つ講座2講座（エコクッキング/令和7年6月2日時点視聴回数計308回）及び東京工業大学提携講座（現・東京科学大学/令和7年3月31日時点視聴回数計629回）/を生涯学習ウェブサイトでオンデマンド配信しました。 [前年度] 日々の暮らしに役立つ講座4講座（睡眠・片づけ・プレゼン・節約）を生涯学習ウェブサイトでオンデマンド配信しました。また、親子で参加できる「ものづくり講座」1講座（18人）実施しました。
	生活学校による事業実施	
	内容	地域社会や生活に関わる諸課題をテーマに課題解決を目指す運動を行っている生活学校に委託し、地域に根差した学習機会を提供します。
定性評価・ 今後の方向性	実績	暮らしに関する講座等を生活学校に委託し、6回（116人）開催しました。また、生活学校と合同研修を1回（34人）共催しました。 [前年度]委託事業9回（200人）、合同研修1回（36人）
	●【学びのきっかけ講座】オンデマンドで配信している講座内に生涯学習ウェブサイトの案内を入れ、他にも様々な講座があることを周知しました。 ●【深める・つながる講座（リベラルアーツ）】各々が抱える人間関係の悩みや不安感等を生み出す社会的背景を、社会学の観点から学びました。参加者自身が身の回りで起きていることや、自分自身の経験を伝え合うことで、「今後どうなっていくのだろう」と身近な問題と捉え、興味を深められたことが、参加者アンケートから伺えます。 ●【深める・つながる講座（専門学校提携講座）】ペアでの申込みを基本としたことにより、全体の3割ほどが同伴者に誘われたことをきっかけに初めて区の講座に参加したと回答し、多くの方の学びのきっかけになったことが伺えます。また、ペアワークを取り入れることにより、「共通の時間、学びを持つことでより関係が深まった」、「（同伴者と）待ち合わせて通えることは励みになった」などの感想が寄せられ、一緒に学ぶということが学びの楽しみに繋がることを実感できました。 ●【深める・つながる講座（若者講座）】「つながりは大切だ」と感じていながら「つながらなくてもよい」社会をつくり続けてきた矛盾を捉え、参加者一人ひとりがどのように考え、振る舞っていくのかを問われる場面があり、参加者アンケート「深く考えることの面白さを感じた」にあるように、自分事として捉えることで、自主的に学び続けるきっかけになったと考えられます。	



▲エコクッキング講座



▲生活学校 合同研修

	➡対象者の工夫（ペア申込み）により、これまで学びの場に参加したことがない区民の学びのきっかけに繋げることができました。今後も学習内容のみではなく、申込方法や対象者などの設定を検討していく必要があります。 ➡社会の変化に併せて、「『ひとそれぞれ』時代の人間関係を考える」、「好きなことで自分らしくつながる」、「人生折り返し地点の『時間』を考える」などのテーマを取り上げました。今後も区民の主体的な学びを支援するため、各個人の課題及び社会的な課題に関する学習機会を提供していきます。
--	---

施策 1-2 誰もが学び始めることができる仕組みづくり

内容	区民の学ぶことへの意欲は高い一方で、様々な障壁により意欲があっても実行できていない方がいます。このため、学ぶ意欲のある区民の誰もが学び始められるよう、学びへのアクセスが困難な方を対象とした機会の提供や、ICTを活用した学習・活動機会の提供、保育環境の整備、外国人区民・障がいのある方へのサポート等、学びやすい環境を整えます。	
取組の方向性	①誰もが参加しやすい学びの充実 ②学びの環境のバリアフリー化 ③ICTを活用した学びの充実	
関係する主な事業取組状況 (人数：延べ参加者数)	まなびバ	
	内容	日本語の読み書きに不自由を感じている区民や、学び直しを必要としている区民を対象に、ひらがな、カタカナ、日常生活に必要な簡単な文などの文字の読み書きや国語、算数など基礎的な学習の場を提供します。
	実績	1年を通して23回(44人)開催しました。このほか自主学習会を2回行うことで受講者の継続的な学習を支援しました。 [前年度]24回(44人)
	保育付き事業	
	内容	乳幼児の保護者が学習や地域活動に参加できるよう、講座等を保育付きで実施します。
	実績	主に高齢者の参加が多く見込まれる講座を除き、生涯学習講座等に保育室を併設しました。 保育利用回数10回(15人) [前年度]保育利用回数15回(19人)
	ICTを活用した学びの充実	
	内容	区民が学びたいときに自宅等から気軽に学ぶことができるよう、区や関連団体が実施する講座等のオンライン配信を拡充します。
	実績	深める・つながる講座1講座、気軽に視聴できる講座2講座(学びのきっかけ講座)を生涯学習ウェブサイトでオンデマンド配信しました。 [前年度]オンデマンド配信8講座
	ICTリテラシー向上のための地域支援事業	
	内容	スマートフォンの簡単な操作方法やオンライン会議の体験等、ICTスキルを習得する機会を提供し、ICT機器を利用できる人とできない人の間に生じる格差(デジタルデバインド)の解消に努めます。
	実績	SNS初心者向け講座6回(103人)及びオンライン会議講座6回(99人)を開催しました。 [前年度]24回(378人)

▲SNS初心者向け講座

定性評価・ 今後の方向性	●【まなびバ】一人ひとりの状況を丁寧にヒアリングし、学習者に合わせた教材を選び学んでいます。年度当初は書く文章が短かった方が、年度終わりには自分の気持ちを長い文章で表現できるようになりました。 ●【ICT リテラシー向上のための地域支援事業】40代から80代までの区民が参加し、スマートフォンの基本的な操作のみでなく、インターネット上の情報に騙されないようにする方法も学びました。参加者からは「トラブルに巻き込まれないための対策が知りたい」、「日々送られてくる迷惑メールについても学びたいと思った」などの声が寄せられ、関心が情報リテラシーにも発展したことが伺えます。 ➡日本語の読み書きに不自由を感じている、ICTに苦手意識がある、参集型の講座に参加が難しい等、学びに対するハードルがある区民を対象とした主体的な学びの支援を継続していく必要があります。
-------------------------	---

基本目標 2 学びを通じたつながり・活用の場の創出

生涯学習を行う目的として、人生を豊かにするためや教養を高めるためと回答した区民が多い一方で、区が生涯学習を推進することで、地域における人と人のつながりが増えることが期待されています。

学んだことを発表する機会や学びを通じて交流する機会を創出することで、個人の学びを深めるとともに、学びを通じたつながりを育み、地域の課題解決や活性化につなげます。

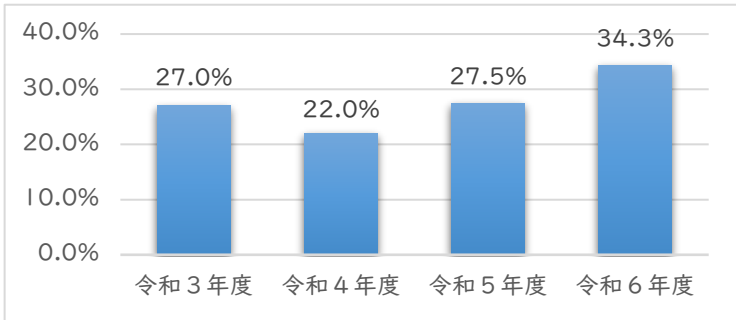
注目標

目標



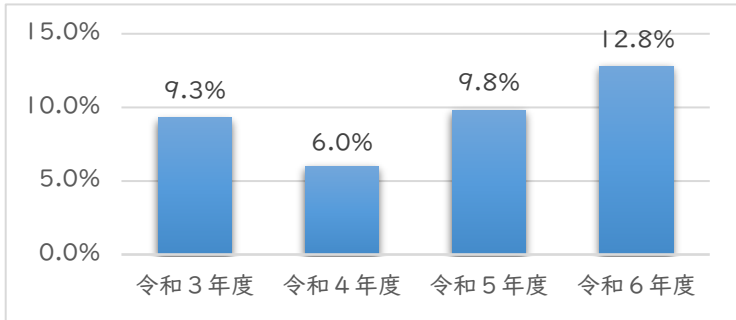
(前年比向上)

生涯学習を通じた人とのつながりづくり・地域での活動状況（生涯学習を通じて身に付けた知識・技能・経験を「知人や仲間ができている」と回答した人の割合）



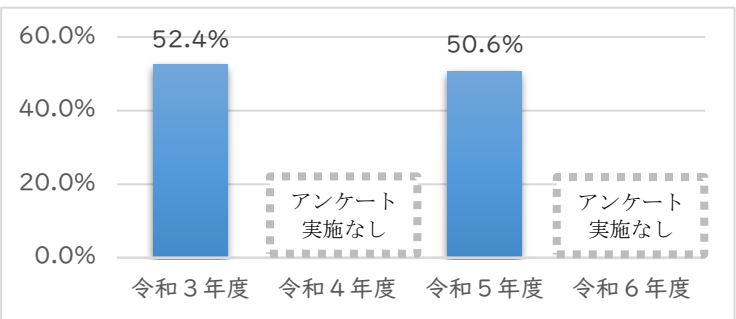
年度	割合
令和 3 年度	27.0%
令和 4 年度	22.0%
令和 5 年度	27.5%
令和 6 年度	34.3%

生涯学習を通じた人とのつながりづくり・地域での活動状況（生涯学習を通じて身に付けた知識・技能・経験を「地域や社会での活動に生かしている」と回答した人の割合）



年度	割合
令和 3 年度	9.3%
令和 4 年度	6.0%
令和 5 年度	9.8%
令和 6 年度	12.8%

社会教育関係団体の交流状況
（地域の他団体と交流した経験が「ある」と回答した社会教育関係団体の割合）



年度	割合
令和 3 年度	52.4%
令和 4 年度	アンケート実施なし
令和 5 年度	50.6%
令和 6 年度	アンケート実施なし

施策 2-1 つながりが生まれる場づくり

内容	生涯学習によって人と人のつながりが増えることが期待されていることから、学んだことを自分の更なる学びにつなげるだけでなく、他者と共有することによって深めることや、学びをツールとしたつながりづくりをサポートします。	
取組の方向性	①交流の基盤づくり ②活動内容や成果の発表・交流促進	
関係する主な事業取組状況 (人数：延べ参加者数)	大田区生涯学習ボランティア制度	
	内容	これまでの経験によって培った知識・技術を地域に役立てたいと考える個人や団体のボランティア登録を行う制度です。講師や運営のサポーターを探している方に、登録されているボランティアの情報を紹介することで、教えたい人と学びたい人をつなげます。
	実績	登録者数 63 人 (R7.3.31 時点)、紹介件数 2 件 [前年度] 登録者数 59 人 (R6.3.31 時点)、紹介件数 2 件
	社会教育関係団体・少年育成団体登録制度	
	内容	学習・文化・スポーツなど、社会教育に関する活動を目的とした団体と青少年の健全育成に資する活動を目的とした団体を登録する制度です。団体の主体的な活動を支援することで、他団体や区民、地域とつながるきっかけをつくれます。
	実績	1,918 団体 (R7.3.31 時点) [前年度] 1,807 団体 (R6.3.31 時点)
	生涯学習のつどい	
	内容	学びを生かした活動の実践例を展示・発表することで、学びの深め方や、学びをきっかけとしたつながりづくりについて知り、考える場を提供します。
	実績	生涯学習事業を報告するパネル展示と、生涯学習相談会を NPO・区民活動フォーラムと同時開催し、広く学習情報や地域活動情報を紹介しました。来場者 81 人 相談件数 13 件 [前年度] 来場者 72 人 相談件数 6 件
	NPO・区民活動フォーラム	
	内容	区内で活動する区民活動団体や NPO などの実践的な取組を、体験コーナーや展示、お楽しみショー、模擬店などを通じて発表する場を提供します。地域で活動する楽しさややりがいを PR し、活動に向けた意識啓発を行います。
	実績	37 団体が出展し、約 950 名が来場しました。 [前年度] 1 回、出展 38 団体、来場者約 1,000 名

定性評価・ 今後の方向性	●【社会教育関係団体・少年育成団体登録制度】 普段団体が活動している文化センターで体験会を開催したところ、新規の入会が複数ありました。体験会の参加者からは「文化センターに入ったことがなかったが、体験会があるので初めて来てみた」、「近くに住んでいるけど、この建物はなんだろうと思っていた」という感想があり、まだ地域にこのような活動の場があることを知らない区民も多いため、引き続き認知度を向上させるための取組みを行います。 ●【生涯学習のつどい】 大田区の地図に学びの場や、その内容をふせんに記載し、貼り付けてもらう参加型展示や、講座・サークル等の生涯学習に参加している人たちの気づきや学びへの想いを紹介する展示を行いました。参加型展示では、作業を通して自然と来場者同士の交流が生まれ、生涯学習に関する理解を深めることにも繋がりました。来場者からは、「長く住んでいるが、知らないことばかりだ」、「今後の参考にしたい」との声があり、ウェブサイト等での広報と併せてこのような直接の働きかけも継続していく必要があります。 ➡社会教育関係団体のおよそ 60%は、文化センターを中心に活動しています。令和 5 年度から社会教育指導員が定期的に文化センターを訪問しており、団体から相談を受けたりヒアリングを実施したりした結果、特に新規会員の獲得に苦慮している団体が多いことなどがわかりました。そのため、来館者の目に留まりやすい箇所に活動の案内を掲示したり、日頃から団体の情報収集をしたりし、つながりづくりをサポートしました。しかし、社会教育指導員が訪問した日に活動していた団体への対応に限られてしまうため、日常的に相談に応じることができる体制が必要です。
-------------------------	--

施策 2-2 学びが生かせる仕組みづくり		
内容	学びの成果を地域での活動等に生かすことは、自己有用感やさらなる活動に対する意欲を育むとともに、課題解決のための新たな学びを求めるといった持続的な学びと活動の循環につながります。 学びによって得た知識や経験、ノウハウを地域課題の解決に生かしたいという区民や団体に対し、スキルアップのための機会の提供、地域とつながるきっかけづくりや活動の支援を行うことで、従前から地域で活動している区民や団体に加え、新たな担い手が参加しやすい機運を醸成します。	
取組の方向性	① 学びを地域で生かし、発展させる機会の提供	
関係する主な 事業取組状況 (人数：延べ参加者数)	協働による魅力あるまちづくり	
	内容	自治会・町会や NPO などの団体が、属する地域内で他の団体と連携・協働する場のきっかけづくりをするなど、地域コミュニティの新たな担い手となるヒントを探ります。
	実績	地域活動団体や地域住民との交流を深め、顔の見える関係をつくることを目的とした交流会を 2 回実施し、31 名の方が参加しました。 [前年度] 地域活動参加状況等を把握するためのアンケートを実施 (回答 257 件 配布数 3,289 件)、交流会 1 回 (28 人)

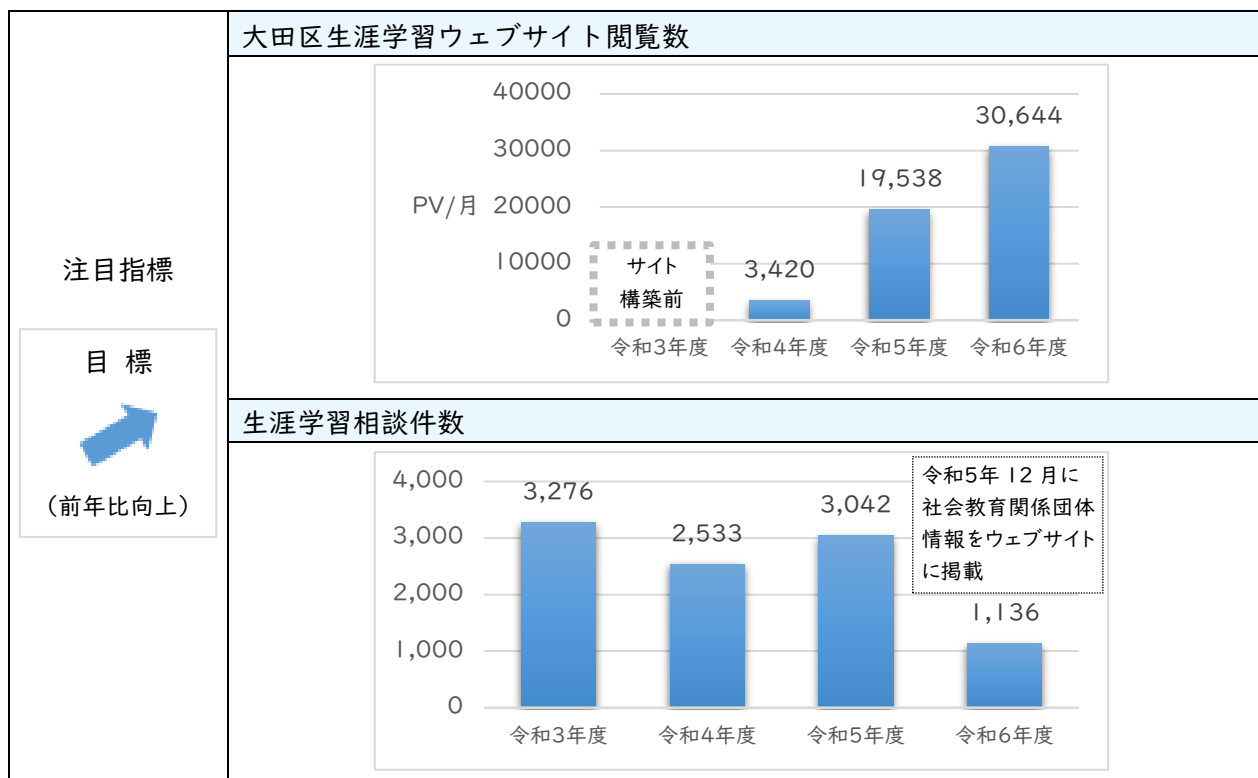
関係する主な 事業取組状況 (人数：延べ参加者数)	区民プロデュース講座（個人）	
	内容	大田区生涯学習ボランティアがこれまでの経験や知識を活動に生かせるよう、区民向け講座の企画・運営の場を提供し、大田区生涯学習ボランティアのスキルアップの支援を行います。
	実績	文化センター等を会場として13回（118人）開催し、地域の身近な施設で学ぶきっかけをつくとともに、大田区生涯学習ボランティアに実践の場を提供しました。 [前年度]12回（193人）
	区民プロデュース講座（団体）	
	内容	大田区社会教育関係団体が自主的に地域で活動を展開できるよう団体による区民向け講座の企画・運営支援を行います。
	実績	文化センター等において5団体が5回（58人）の講座を実施し、これらを通じ団体に新規加入した参加者が複数いました。 [前年度]3団体6回（74人） 社会教育関係団体による英会話講座 
	生涯学習相談員の支援	
	内容	生涯学習人材育成講座修了者が生涯学習相談員として、区民からの生涯学習に関する相談対応等を通じて、地域課題を把握しながら地域とのつながりを構築できるよう支援します。
	実績	生涯学習相談員30人に対し、研修会3回を開催し、スキルアップを行いました。大田区生涯学習ボランティアとの交流を深めるため、生涯学習人材交流会を1回（46人）開催しました。 [前年度]生涯学習相談員26人、研修会3回、交流会1回（47人）
	災害ボランティアの育成・支援	
	内容	災害時に備えるため、被災地ボランティア未経験者を含めた講座を実施し、災害ボランティアの育成及び被災地ボランティアの区民活動への参加を促します。
	実績	災害ボランティアのリーダーとなり得る人材の育成及び活動の支援を目的とし、防災塾2回（170人）、災害ボランティアリーダー育成講座1回（26人）、ボラセン・サテライト・プロジェクト11回（137人）を開催しました。 [前年度]防災塾1回（71人）、災害ボランティアリーダー育成講座1回（35人）、ボラセン・サテライト・プロジェクト10回（104人）
	生涯学習人材育成講座	
	内容	区民の主体的な学習活動の推進役となる人材を育成するため、社会教育・生涯学習の基礎について学ぶ機会や地域とのつながりを築く機会を提供します。
	実績	12回（41人）開催し、14人が新たに生涯学習相談員となりました。 [前年度]12回（34人）開催し、14人が新たに生涯学習相談員となりました。

関係する主な 事業取組状況 (人数：延べ参加者数)	区民活動コーディネーター養成講座	
	内容	自治会・町会に加え、専門性を持つ団体、NPOや事業者など、地域での連携・協働を推進するため「つなぎ役」となる人材を育成します。
	実績	区や区民活動団体等と協働して地域課題の解決を図ることのできる人材の育成を目的とし、区民活動コーディネーター養成講座修了生向けに、学び直し・スキルアップの場となる講座7回(85人)を実施しました。また、講座での学びを活かし、実践的な経験を積む「ワールドカフェ(対話型交流)」1回(21人)を開催しました。 [前年度]区民活動コーディネーター養成講座修了生向け講座3回(29人)、対話型交流2回(18人)
定性評価・ 今後の方向性	●【区民プロデュース講座(個人)】スマートフォンの操作に関する講座では、講座終了後も互いのわからないことを教え合うためにつながった参加者が複数いました。 ●【区民プロデュース講座(団体)】アンケートに「自分にぴったりの会が見つかった嬉しい」との感想が寄せられ、生涯学習のきっかけを見つけた参加者もいました。実際に体験会を経て、その団体に入会した方が複数名いました。 ●【生涯学習相談員の支援】地区別の会議に参加した生涯学習相談員は、地域の情報を持ち寄り、相談会の検討及び企画を行いました。また、生涯学習ボランティアとの交流会は、区のボランティア制度や地域への理解を深める機会となりました。 ➡文化センターにおいて相談会や講座を実施することで、団体やボランティアに実践の場を提供することができました。持続的な学びと活動の循環につなげるためには、より学びの成果を地域での活動等に活かす機会を提供することが必要です。	

基本目標 3 地域の学びを支える環境整備

区は、多様な主体が特色ある区の資源を活用しながら学習機会を提供しています。また、区内には文化センターや区民センター、図書館など地域に根差した施設が全域に配置されています。

こうした資源を最大限生かし、区民の学びを支援するため、多様な主体と連携しながら学習・活動環境を整備します。また、学習や活動機会の提供だけでなく、情報を体系化し可視化することで、学びたいことと学びの機会がつながる情報の発信を行います。



施策 3-1 学びの情報発信の充実

内容	各主体別に提供している様々な学習情報を体系化し、区民の学びたいことと学びの機会がつながる情報発信を行うことで、生涯学習を始めるきっかけをつくります。「生涯学習」という言葉を認識していない区民であっても、必要な情報にたどり着きやすくなるような工夫をします。	
取組の方向性	① 区民と学びをつなぐ情報発信の充実	
関係する主な事業取組状況 (人数：延べ参加者数)	生涯学習情報誌「おおたまなびの森」	
	内容	生涯学習を行うきっかけづくりを目的とし、区内で行われている講座・講演・催し物などを掲載します。希望する社会教育関係団体の情報も掲載しています。
	実績	4回 各1,200部発行



関係する主な 事業取組状況 (人数：延べ参加者数)	おおた地域力発見ガイド	
	内容	地域活動を始めたい人や既に地域活動に携わっている人向けに、区内で行われている地域活動や、地域参加・地域活動を応援する事業を集約・掲載します。
	実績	1回 2,600部発行
	生涯学習ウェブサイトの運用	
	内容	区内の生涯学習に関する情報を一元的にわかりやすく発信するウェブサイトを運用し、区民の学習や活動のきっかけづくりを支援します。またサイトを通じて、各種講座をオンライン受講できるよう整備します。
	実績	一部改修を行い、サイト内の全文検索機能、動画専用ページを追加するなど、ユーザビリティを向上させました。 閲覧数 367,725PV/年 (30,644PV/月) [前年度] 234,459PV/年 (19,538PV/月)  ▲サイト トップページ
	大田区区民活動情報サイト「オーちゃんネット」	
	内容	大田区におけるさまざまな区民活動団体（自治会・町会、NPO法人、任意団体、社会教育関係団体等）の活動内容やイベントなどの情報を発信します。
	実績	登録団体 690 団体、アクセス件数 86,570 件、 閲覧数 264,464PV/年 [前年度]登録団体 667 団体、アクセス件数 90,821 件、 閲覧数 252,546PV/年
定性評価・ 今後の方向性	●【生涯学習ウェブサイトの運用】令和6年度は、月平均 6,830 人（アクティブユーザー）に利用されており、ウェブサイトから動画講座の視聴や、講座の申込み、お問合せ等に繋がっています（参考：令和5年度 月平均 5,651 人）。 ➡より多くの区民に活用されるよう、引き続き SNS や講座等においてウェブサイトの周知を行うとともに、コンテンツの充実に向け、より多くの講座等が集まるよう庁内に呼びかけを継続します。また、庁内以外の教育機関の情報も掲載してもらえるよう積極的に働きかけを行います。 ➡オンライン講座については、よりコンテンツが活用されるよう、講座を複数に分割して視聴しやすくしたり、視覚的に興味をひくようなサムネイルを採用したり工夫を継続します。	

施策 3-2 推進体制の構築

内容	区民が学びを通じて個人の人生を豊かにするとともに、豊かな人と人とのつながりを構築することで地域力を向上させるためには、それを支える様々な主体との連携が求められます。市内の関係部局はもちろん、学校、地域、関係機関や専門職等と積極的に連携・交流することで、区が有する特色ある資源を結集し、地域力を生かした生涯学習施策を推進します。	
取組の方向性	①地域力を生かして学びを支える仕組みづくり ②学びに関する相談対応機能の充実	
関係する主な事業取組状況 (人数：延べ参加者数)	生涯学習の推進に係るネットワークの構築	
	内容	区内で生涯学習の推進に関わる多様な主体と連携・情報共有する場を設け、地域特性や各主体の専門性を生かした学習・活動機会を拡充します。
	実績	大田区における生涯学習の推進について広く意見を求め、生涯学習の推進に関わる多様な主体と連携・協働し、「おおた生涯学習推進プラン」で掲げた基本理念を実現するため、「おおた生涯学習推進プラン」推進会議を運営しました。地域の学びの場に関わる課題を整理し、求められる役割、機能等について協議しました。その検討結果を「地域の学びの場のあり方検討報告書」にまとめました。 開催回数 3回
	関係部局との連携・協働の推進	
	内容	生涯学習に関連する施設、学校のみならず、それぞれの行政課題に沿った学習機会を提供している市内の部局と、区が目指す生涯学習のあり方を共有し、生涯学習推進に係る課題を解決していくため、横断的な連携体制を強化します。
	実績	生涯学習の機会を提供している部局と横断的に連携し、「おおた生涯学習推進プラン」を円滑かつ効果的に推進するため、「おおた生涯学習推進プラン」推進市内検討委員会を開催しました。 開催回数 2回
	生涯学習相談	
	内容	区内の様々な機関や団体が行う講座・イベント、活動等の情報提供や学びに関する相談対応を行います。区内の豊富な学びの資源と学ぶ意欲のある区民をつなげることで、区民の主体的な学びを支援します。生涯学習センター蒲田のほか、区民に身近な区施設等においても相談会を開催します。
	実績	生涯学習センター蒲田及び各地域の文化センターにおいて相談会を定期的実施しました。 相談件数 1,136 件※、相談会 40 回（150 件） うち、地域での相談会回数 25 回（74 件） [前年度]相談件数 3,042 件、相談会 39 回（132 件） うち、地域での相談会回数 25 回（71 件） ※令和 5 年 12 月に社会教育関係団体情報を生涯学習ウェブサイトに掲載したため、令和 6 年度の相談件数が減少したと考えられます。

関係する主な事業取組状況 (人数：延べ参加者数)	学びに関する相談対応機能の充実	
	内容	区内の豊富な学びに関わる資源と学ぶ意欲のある区民をつなげ、地域での学びを一層活性化するため、学びに関する相談・コーディネート機能のあり方について、実践的に検討します。また、個別の学びに関する相談やニーズを分析し、改善していくための取組も試行的に実施します。
	実績	生涯学習ウェブサイトから相談を受け付けています。また、よくある質問をまとめ、利便性を向上させました。 「おおた生涯学習推進プラン」推進会議において、学びに関する相談・コーディネート機能について、地域の施設における実践に向けて検討しました。
定性評価・今後の方向性	●【生涯学習相談】生涯学習センター蒲田の他に文化センターで積極的に相談会を実施しました。一部の文化センターでは、周辺施設（図書館、地域包括支援センター）に協力を依頼し、地域のイベントや施設の年間事業計画、地域のたまり場マップなど多岐にわたる情報をあらかじめ収集しておき、相談対応に活用しました。 ➡地域の文化センターで相談会を実施することで、その地域で活動している団体の見学を併せて実施するなど、学ぶ意欲がある区民と地域をつなげることができます。今後もそのような機会の拡充が求められます。	

施策 3-3 施設の機能・利用機会の拡充		
内容	区民に最も身近な生涯学習に関連する施設における情報や場の提供、学びを通じた人や地域とのつながりづくりを支援する機能等を拡充し、区民が身近な施設で気軽に学び、活動できる環境を整備します。	
取組の方向性	① 地域に根差した学びの拠点づくり ② 生涯学習センター・コーナー機能の拡充	
関係する主な事業取組状況 (人数：延べ参加者数)	区民に身近な施設を活用した生涯学習の推進	
	内容	集会施設（文化センター・区民センター等）、図書館等の機能や使い方を区民にわかりやすく発信するとともに、区民の身近な生涯学習の場としてさらに活用されるよう拡充・整備を進めます。また、これから整備を進める複合施設は、生涯学習に関する情報発信の場や学びを通じて人が集まり、つながりを育む拠点としても活用していきます。
	実績	区立図書館 10 館に設置した生涯学習情報専用ラックにおいて、講座・イベント等の周知を継続して行いました。
	区民活動支援施設（こらば大森・mics おおた）	
	内容	福祉、環境、まちづくりなどの地域の社会的活動や公益性のある活動を行う団体に対して、情報の提供、相談及び助言を行うとともに、活動の場所を提供します。

関係する主な 事業取組状況 (人数：延べ参加者数)	実績	区民活動団体に対して、会議や活動の場の提供、助成金等の情報提供、団体運営や活動の相談支援、団体のスキルアップを目的とした講座を実施しました。
	生涯学習センター・コーナー機能の拡充	
	内容	学びたいことが明確になっていない区民も含め、区民の学び始めを支援するための生涯学習情報の提供、相談等の機能を有する「生涯学習コーナー」と、生涯学習情報の提供、相談等の機能に加えて、区内全域に渡る人材や施設に関する情報の集約、コーディネート機能、及び活動や交流のためのスペースを提供する「生涯学習センター」のあり方を検討します。
	実績	「おおた生涯学習推進プラン」推進会議での「地域の学びの場のあり方検討」において、生涯学習センターの現状と課題を整理し、具体的な取組みについて検討しました。
定性評価・ 今後の方向性	●【区民に身近な施設を活用した生涯学習の推進】図書館及び新蒲田区民活動施設にラックを設置していましたが、令和6年度は新たに開設したスマイル大森(大森北四丁目複合施設)でも講座・イベント等を周知し、より広く生涯学習情報を発信しました。 ➡文化センターの機能や使い方を知らない区民も多く、知ってもらう機会とするため、講座等を文化センターで継続して実施します。また日頃、文化センターを利用しない区民が講座等で来館した際に目に留まるよう、一部の文化センターにおいて、機能の紹介等のポスターを試行的に令和7年度から掲示します。 ➡より多くの区民が生涯学習を認識し、学びの場に参加することができるよう、さらに多くの施設において生涯学習の情報発信を行います。	

重点的取組

Ⅰ 地域力を生かし育む、学びとつながりの循環の創出	
内容	区は、羽田空港やものづくり等、全国的にも知名度の高い資源のほか、自治会・町会活動が盛んであること、多様な教育機関が存在すること、スポーツや文化活動が活発であること等、生涯を通じて学ぶための豊富な資源に恵まれているといえます。それらの資源（主体）との連携・協働を強化し、区内の学びに関する情報を集約・分析や改善をしながら、多様化する区民の学習・活動ニーズに応えていくことは、地域力を生かした学びの機会充実につながります。地域力を生かした豊かな学びを通じて、つながりや地域に対する愛着を育み、地域での活動を側面的に支援することで、さらなる地域力の向上につなげます。
重点事業	1-1-③ 深める・つながる講座 2-2-① 区民活動コーディネーター養成講座 3-2-① 生涯学習の推進に係るネットワークの構築 3-2-② 生涯学習相談
定性評価・今後の方向性	●深める・つながる講座をはじめとする各講座では、地域の団体、教育機関等地域の資源と連携し講座を実施しました。一部の講座では、地域の魅力を再発見し、それらを通してつながりを育む機会を創出しました。学ぶ意欲のある区民と、地域の学びの資源をつなげることができるよう、より多くの資源との関係を構築するとともに、既存の連携の強化に努めます。 【講座ピックアップ】 講座名：（第1弾：講座企画）大田区の地域学講座（馬込・池上地区）を創ろう （第2弾：講座実施）だけじゃない馬込・池上～みんなで発見！お宝さんぽ～ 内 容：第1弾は、これまでの地域学講座に関わり、学び続けている方々のお話を聞き、それぞれの経験や気になる事を持ち寄って講座の企画に繋げる（全8回）。第2弾は、実際に参加者を募集し、講座の企画・運営を行う（全3回）。 ■第1弾 講座企画 第1回 講座企画会説明会 生涯学習講座、講座企画会について説明 今後の進め方、自己紹介（参加動機、課題意識） 第2回 「おおた地域学」で大切にしていること これまでの地域学講座（おおた地域学）でご協力いただいた地域の人の話から学ぶ（どのようなアプローチをしたか。どのような学習方法で学んだか。現在どう続いているか）。 第3回 「馬込・池上」ってどんなまち？ 気になること、知っている情報を持ち寄って、話をする。 第4回 講座のねらいを考えよう この講座における「おおた地域学」を定義し、講座の対象者及びねらいについて考える。

定性評価・ 今後の方向性	<u>第5回及び第6回 講座企画を考えよう</u> 学習テーマ、プログラム、学習方法の検討 <u>第7回 講座企画を考えよう</u> 企画の完成。広報の検討 <u>第8回 講座当日に向けて準備しよう</u> 講座運営の確認。当日の役割分担等 ■第2弾 講座実施 <u>第1回 「さんぽ」支度のサポート</u> 郷土博物館学芸員からまちの成り立ちと変遷について学ぶ。 <u>第2回 お宝さんぽ（馬込または池上コース）</u> 馬込または池上コースに分かれ、まちを歩いて「お宝」を探す。 <u>第3回 わがまち「お宝番付」をつくろう</u> 第2回で見つけた「お宝」をグループで番付表にする。 講座担当者による振り返り： 講座終了後に参加者が自発的に SNS で繋がり、地域の情報について交換する場が生まれました。講座で扱った地域だけではなく、他の地域にも歩きに行く計画が立てられるなど、講座の受講が自主的に学び続けるきっかけとなったことが伺えます。また、その地域に住んでいるが、地域のことをあまりよく知らないという参加者が多かったものの、講座で地域をよりよくする方々と出会い、お話を聞くことで、地域への愛着が育まれたようです。さらに、講座を通して、表面的に見えていたものを、重層的に見ることができ、地域をより近く感じるきっかけとなりました。
-------------------------	---

重点的取組

2 ICTを活用した学びの環境整備	
内容	ICT等の高度化により、時間的、空間的な制約を超えた学びの機会を提供することが可能となっています。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、オンラインによる学習や交流等、ICTを活用した学びやつながりへのニーズが顕在化しています。ICTを活用した学びに関する情報の発信や学習環境の整備を進めることで、学ぶ意欲があっても、時間的制約等から実行することができていない人たちに対しても、学びやつながりづくりの機会を拡充します。 ICTを活用した学びの環境整備と並行して、ICT機器を活用できる人とできない人の間に生じる格差（デジタルデバйд）の解消にも努めます。
重点事業	1-2-③ ICTを活用した学びの充実 1-2-③ ICTリテラシー向上のための地域支援事業 3-1-① 生涯学習ウェブサイトの運用
定性評価・今後の方向性	●自宅等からいつでも視聴できるオンライン講座を生涯学習ウェブサイトに拡充したほか、サイトの一部改修を実施し、サイト内の全文検索機能を追加するなど利用者の利便性を高めました。今後もサイトの認知度向上に向けた取り組みを継続します。 【動画講座ピックアップ】 ・60分で学べる ぐっすり眠ろう！睡眠講座 ・60分で学べる プレゼンテーション講座 ・60分で学べる 片づけ講座 ・70分で学べる 家計の節約講座 ・簡単エコクッキング おうちごはんでSDGs ●生涯学習ボランティア制度に登録している生涯学習インストラクターが講師となりスマートフォンの基本操作や活用方法に関する講座を実施しました。他にも相談会実施時に一部の文化センターでスマートフォンに関する相談を受付けるなどデジタルデバйдの解消に努めました。今後は、スマートフォンの操作に関する講座のみではなく、情報を適切に収集、活用する能力の向上に資する内容を提供する必要があります。

重点的取組

3 地域の学びを支える施設や事業の拡充

内容	社会の変化に対応した多様な学びの機会を提供するため、講座内容を充実・体系化するとともに、事業自体の認知度を向上させる取組を進めます。 学びに係る区民のニーズ等を集約・分析し、改善につなげる仕組み及び相談・コーディネート機能のあり方についても検討します。 また、施設間の情報共有や連携を強化し、学習や活動の拠点となる生涯学習に関連する施設の機能・役割をわかりやすく示すことにより、区民が身近な場所で学習したり、活動したりしやすい環境を整備します。																
重点事業	1-1-③ 深める・つながる講座等生涯学習事業の拡充 3-2-② 学びに関する相談対応機能の充実 3-3-① 区民に身近な施設を活用した生涯学習の推進 3-3-② 生涯学習センター・コーナー機能の拡充																
定性評価・今後の方向性	●「おおた生涯学習推進プラン推進会議」において「地域の学びの場のあり方」を検討しました。モデルケースとして文化センター、図書館及び生涯学習センターでの取組を検討し、令和5年度は、地域の学びの場の基本的役割、各施設で重点的に担う機能について整理をしました。令和6年度は、各施設での取組案や地域の学びの場の連携イメージについてまとめました。 ●「区民に身近な施設を活用した生涯学習の推進」の試行的な取組として、社会教育指導員が文化センターを定期的に訪問し、講座や相談会を実施しています。その文化センターで活動する団体の状況を把握したり、相談を受けたりしました。この取組の結果、これまで文化センターを知らなかった区民の来館や団体への新規加入につながっています。 【美原文化センターでの実践内容（一部）】 <table border="1"> <tr> <th colspan="2">区民プロデュース講座（個人）</th></tr> <tr> <td>回数</td><td>1 講座 1 回</td></tr> <tr> <td>内容</td><td>水彩ワークショップ</td></tr> <tr> <td>成果</td><td> 参加者：身近な地域で多世代と一緒に学習する機会を得ることができました。 インストラクター：普段対象としない世代参加もあり、学習ニーズを捉えることができました。 地域：新たな来館者を呼び込むことができました。 </td></tr> <tr> <th colspan="2">区民プロデュース講座（団体）</th></tr> <tr> <td>回数</td><td>1 講座 2 回</td></tr> <tr> <td>内容</td><td>歌唱（演歌）</td></tr> <tr> <td>成果</td><td> 団体：文化センターまつりの発表の機会では伝えきれなかった、サークル活動の醍醐味をお伝えすることができました。新規の入会希望も複数ありました。 </td></tr> </table>	区民プロデュース講座（個人）		回数	1 講座 1 回	内容	水彩ワークショップ	成果	参加者：身近な地域で多世代と一緒に学習する機会を得ることができました。 インストラクター：普段対象としない世代参加もあり、学習ニーズを捉えることができました。 地域：新たな来館者を呼び込むことができました。	区民プロデュース講座（団体）		回数	1 講座 2 回	内容	歌唱（演歌）	成果	団体：文化センターまつりの発表の機会では伝えきれなかった、サークル活動の醍醐味をお伝えすることができました。新規の入会希望も複数ありました。
区民プロデュース講座（個人）																	
回数	1 講座 1 回																
内容	水彩ワークショップ																
成果	参加者：身近な地域で多世代と一緒に学習する機会を得ることができました。 インストラクター：普段対象としない世代参加もあり、学習ニーズを捉えることができました。 地域：新たな来館者を呼び込むことができました。																
区民プロデュース講座（団体）																	
回数	1 講座 2 回																
内容	歌唱（演歌）																
成果	団体：文化センターまつりの発表の機会では伝えきれなかった、サークル活動の醍醐味をお伝えすることができました。新規の入会希望も複数ありました。																

定性評価・ 今後の方向性	生涯学習相談会	
	回数	7回
	内容	・利用団体の見学、体験を促進 ・地域イベントで出張開催 ・文化センターまつり開催時に併せて実施
	成果	・出張開催は、相談だけでなく、情報（チラシ等）も多くの人の目に触れる機会になりました。 ・文化センターまつり展示室内で相談会を開催したことで、来場者への声掛けから相談に繋がるケースに対応することができました。
	生涯学習体験会	
	回数	2回
	内容	・活動団体の見学、体験会 ・生涯学習相談員による企画（手話体験）
	成果	・体験会をきっかけに新規の団体加入者がありました。 ・相談員による企画の参加者が、地域の団体に参加し、継続して学習することとなりました。また、「初歩的な手話を継続して学びたい」との声もあり、相談員が地域施設で定期的に学びの場を開いていくヒントが見えました。
	文化センターまつり	
	内容	・実行委員会への助言等 ・設営、撤収の手伝い
	成果	・まつりの支援を継続することで、実行委員会役員との信頼関係を生み、助言を求められるようになりました。 ・舞台発表団体が減り、枠に空きが出ていることについて実行委員会から相談があり、生涯学習インストラクターを紹介したところ、出演に繋がりました。 ・まつり以降、利用者から声が掛かることが増え、サークル活動を支援する職員として認知され始めていることが伺えます。
	生涯学習相談員支援	
	内容	・地域別会議の開催 ・相談会開催時の団体情報等の共有
	成果	・地域別会議に参加した相談員からの発案で、体験会を企画運営する機会をつくることができました。 ・高齢化、会員減少等の課題を抱える団体の現状等を共有することで、団体相談対応のアイデア出しを促すことができました。
	地域内ネットワークづくり	
	内容	地域内で生涯学習を広めていくために、近隣施設職員と情報交換を行いました（地域包括支援センター、図書館、学校支援コーディネーター）。
	成果	・地域福祉関係者が主催するイベントにおいて、生涯学習相談会の出張開催を実施することができました。 ・生涯学習インストラクター情報等を共有してきたことで、近隣施設主

定性評価・ 今後の方向性	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="392 192 485 365"></td><td data-bbox="485 192 1426 365"> 催事業で活用してもらうことができました。 ・図書館との関係においては、文化センターの展示情報を図書館広報誌に掲載してもらったり、図書館内展示に活動団体関連図書資料を置いてもらったりすることができました。 </td></tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="392 365 1426 488"> 美原文化センター以外にも、嶺町文化センター、糺谷文化センター等へ社会教育指導員が定期的に訪問しており、地域の特色に合わせた取組を行っています。 </td></tr> </table>		催事業で活用してもらうことができました。 ・図書館との関係においては、文化センターの展示情報を図書館広報誌に掲載してもらったり、図書館内展示に活動団体関連図書資料を置いてもらったりすることができました。	美原文化センター以外にも、嶺町文化センター、糺谷文化センター等へ社会教育指導員が定期的に訪問しており、地域の特色に合わせた取組を行っています。	
	催事業で活用してもらうことができました。 ・図書館との関係においては、文化センターの展示情報を図書館広報誌に掲載してもらったり、図書館内展示に活動団体関連図書資料を置いてもらったりすることができました。				
美原文化センター以外にも、嶺町文化センター、糺谷文化センター等へ社会教育指導員が定期的に訪問しており、地域の特色に合わせた取組を行っています。					